

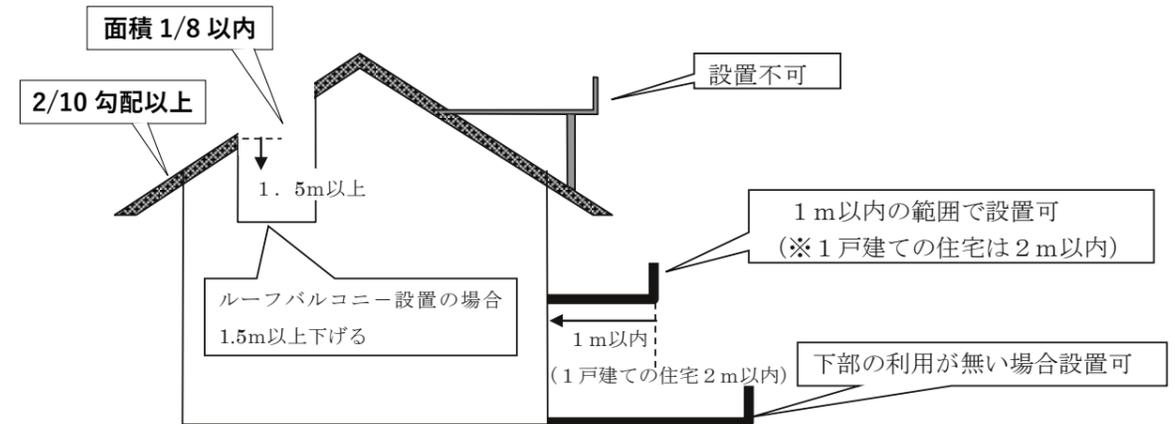
## 設計と条件・進入路の検討

### ■ 軽井沢町の設計条件を踏まえた建物形状の比較検討



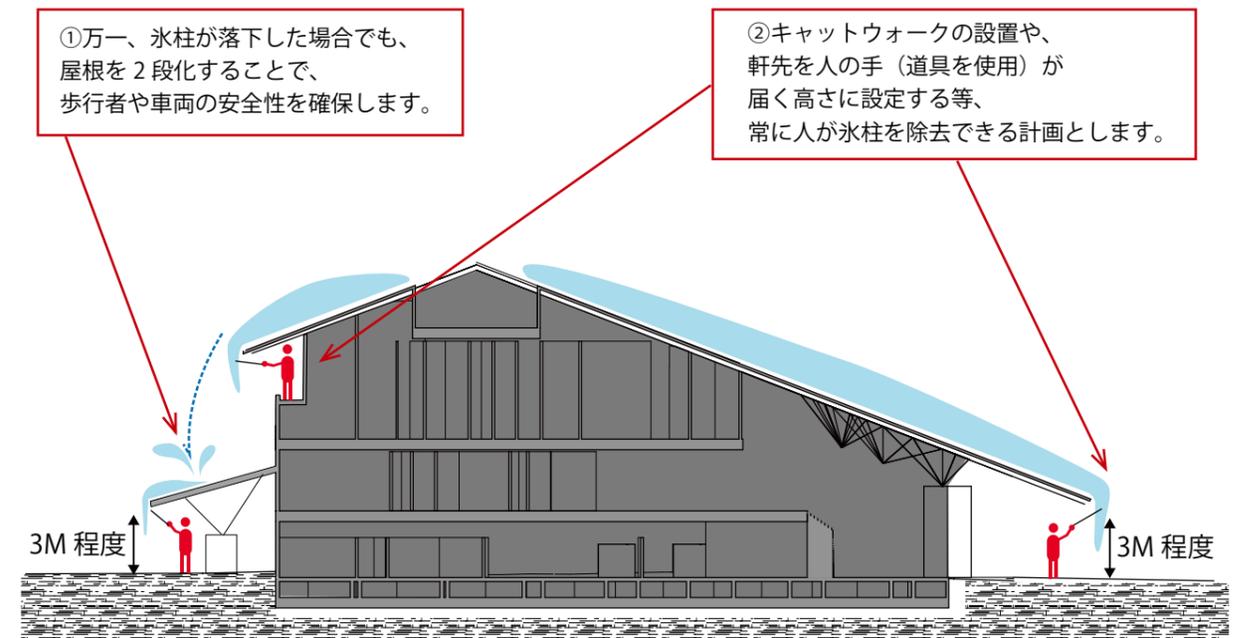
### ① 軽井沢町自然保護対策要綱による勾配屋根の規定

軽井沢町自然保護対策要綱により、建築物の「屋根は2/10以上の勾配屋根とすること」と規定されています。そのため、原則、建物の幅が大きくなると建物の高さが比例して高くなる傾向にあります。公共施設の利便性を考慮すると、安易に建物の幅を細くできません。よって、建物の幅を抑えつつ、使い勝手の良い平面形状を検討していく必要があります。



### ② 軽井沢の気候を踏まえた軒先の設定 (落水対策)

落水対策として、「①屋根の2段化」「②軒先を人の手でつららを撤去できる高さとする (または、キャットウォークの設置)」以上の解決策が有用です。できる限り「②軒先を人の手でつららを撤去できる高さとする」ことが有用と考えます。

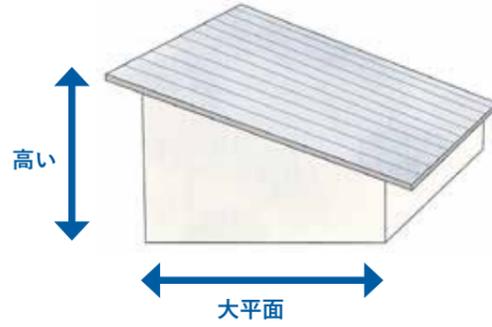


# 配置・ボリューム検討

## ■ 軽井沢町の設計条件を踏まえた建物形状の比較検討

### (1) 片流れ案

- ・建物高さが高くなる
- ・高い位置からの落柱の危険性が高い
- ・雪の落下量が多く危険
- ・屋根最高部の雪がたまりやすい



### (2) 切妻屋根案

- ・建物高さを片流れ案より抑えやすい
- ・軒先を低く抑えたり、屋根を2段構成として落柱対策が可能



## ● 切妻屋根案



## ● 切妻屋根案 (分節化)

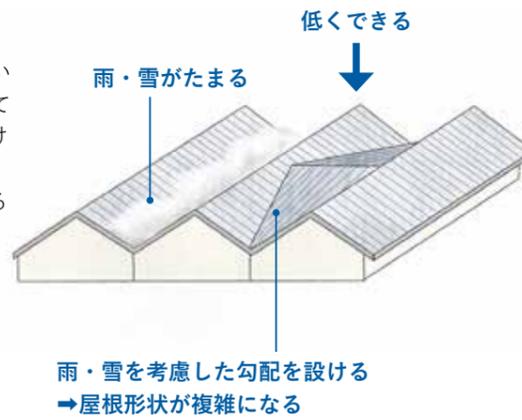


# 配置・ボリューム検討

## ■ 軽井沢町の設計条件を踏まえた建物形状の比較検討

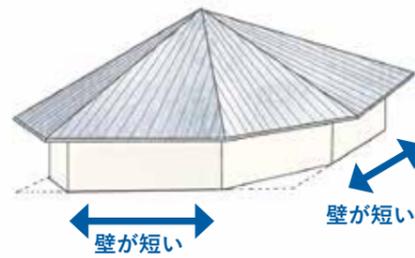
### (3) 建物並列案

- ・谷に雪がたまりやすい
- ・落雪、排水対策として谷部分にも勾配を設けて対応可能。ただし、屋根形状が複雑になる



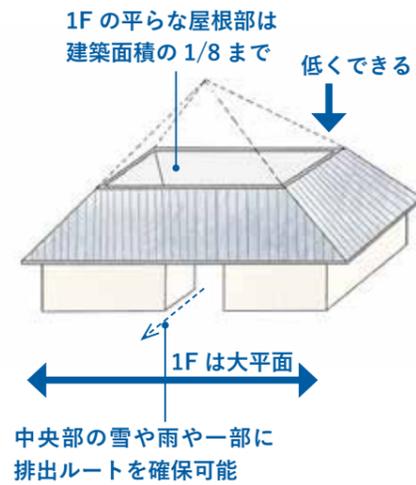
### (4) 多角形分節案

- ・角を落とすことで、一辺を短くでき、壁を小さくみせることができる
- ・長大な壁ができないことから、コンパクトに見せることができる



### (5) 中庭案

- ・屋根の頂点をカットすることで屋根高さを低くできる
- ・陸屋根（平らな屋根）部分を設置することで、屋根から落ちる雪を減らす（軽井沢面積制限あり。1/8）。



## ● 多角形案



## ● 中庭案 + 多角形案



## 質実剛健で品格のある“軽井沢らしい庁舎”を目指して

現在、計画の見直しにあたり、コスト削減を重視しつつ、プロポーザル時よりも案の魅力が深まることを目指し、検討しています。

その中でも特に景観デザインに際しては、縄文の集落文化、古代より交通の要地として栄えた宿場町文化、さらには西洋人が再発見した避暑地文化など、軽井沢の歴史と文化が育んできた、清貧で素朴な中にも、品位ある形態を探求していきます。また、軽井沢らしい屋根形状については、ヴォーリス、レーモンド、吉村順三といった、軽井沢を代表する建築家の屋根形状をはじめ、軽井沢の気候と親和性がある寒冷地で培われてきた北欧建築（アアルト等）なども参照しながら形状を検討しています。





# 建築デザイン検討 / 参考イメージ

## ■ アルヴァ・アアルト / セイナツツァロの村役場 @フィンランド

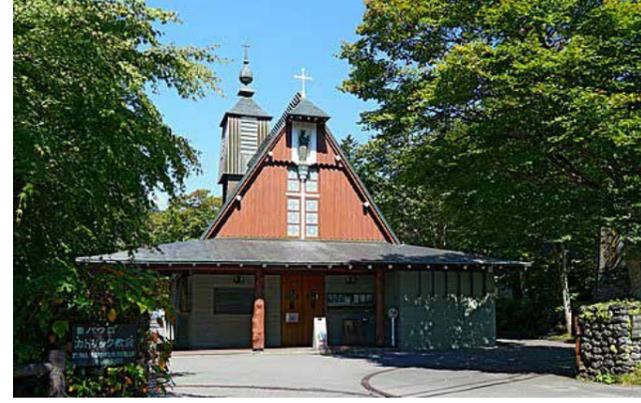


Google map より



Google map より

## ■ アントニン・レーモンド / 聖パウロカトリック教会 @軽井沢



wikipedia より

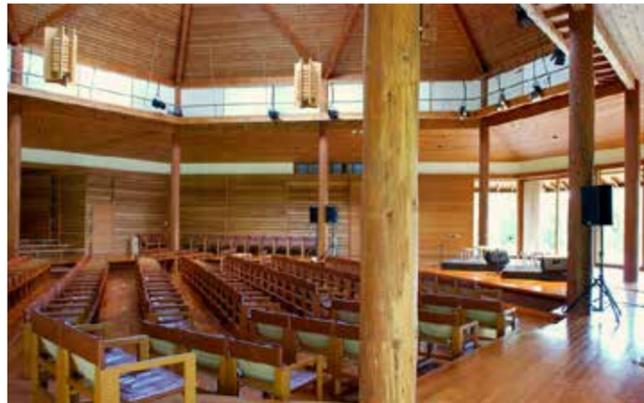


wikipedia より

## ■ 吉村順三 / ハヶ岳高原音楽堂 @ハヶ岳



wikipedia より

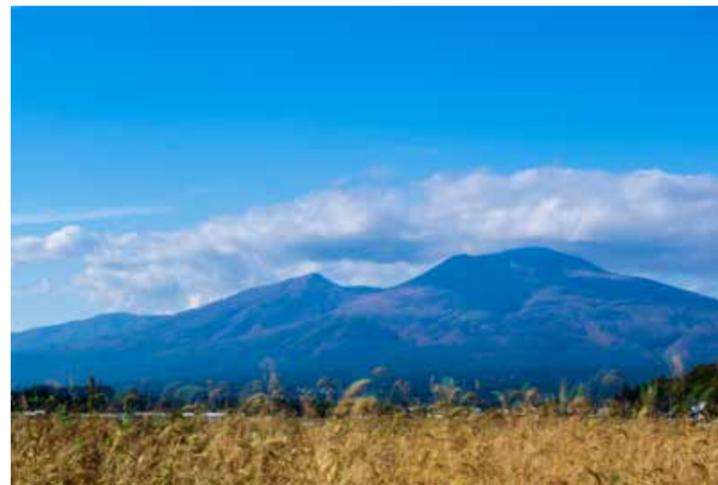


<https://www.flickr.com/photos/midorisyu/7997964163/in/album-72157631562330771> より

## ■ ウィリアム・メレル・ヴォーリズ / 亜武巢山荘 @軽井沢



## ■ 浅間山



Google map より